

「市長記者会見」の概要

■日時 令和3年12月24日（金）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、長野市民新聞

■質疑応答

【「稲荷山宿・蔵し館」及び「ふる里漫画館」での学校連携事業による更埴西中学校生徒の陶芸作品「田毎焼」の展示と無料開放について】

問 毎年行っている事業か。

回答 今回が初めての事業となる。

問 期間中に更埴西中学校の生徒が、稲荷山宿・蔵し館やふる里漫画館に来る予定はあるか。

回答 生徒の皆さんが（行事等で）来る予定はありません。

【指定ごみ袋購入チケットの廃止について】

問 ごみ袋購入チケットの現在の割り当ては。

回答 世帯人員に応じての割り当てとなっており、1人世帯で7枚、2人世帯で9枚、7人世帯だと14枚となっている。8人世帯以上は1枚追加している。

問 チケット1枚でごみ袋は何枚購入できるのか。

回答 可燃、不燃を問わず、10枚入りのものを1セット購入できる。

問 市民アンケートを実施することとなった経緯は。

回答 チケット制度については、市民の方から様々なご意見をいただいていることや市議会からの質問があったことに加え、平成22年度の制度開始からある程度の年数が経過していることから、見直しの機会として市民アンケートを実施した。

問 市議会からのチケット制度を廃止すべきとの意見や制度開始から10年以上経過していることから、見直すこととしたということの良いか。

回答 そのとおり。ごみチケットの廃止の要望については、以前から寄せられており、市議会からの一般質問や市民からのご意見箱への要望などでもいただいたことに加え、周辺自治体でもチケットを取り扱っていないことや新しいごみ焼却施設も完成したことから、市民アンケートの結果も踏まえ見直すこととした。

問 市民アンケートの総数と内容は。

回答 調査件数は1250件で、587件の回答を得た。47%の回答率。調査項目は、①チケット制度は不要である。②今後もチケット制度を継続すべきである。の二択で行った。

問 ごみ袋に名前を記入することとなっているが、今回のチケット廃止に加え見直す予定はあるか。

回答 まずはチケットの廃止から行うが、ごみ袋についても、様々なご意見も寄せられていることから今後庁内で検討したい。

【市政全般について】

問 小川市長の1年の総括と来年に向けての意気込みは。

回答 今なお続く新型コロナウイルス感染症への対応だが、この1年は、庁内一丸となってコロナ感染症対策やワクチン接種の迅速化に注力してきた。

また、私の公約に掲げたことを実現するための準備段階として、何とか種をまくことができたと思っている。市民の声を聞く会や議会の皆さんとの関係についても、12月議会では「雨降って地固まる」ではないが、非常に良好な関係になったことから、来年は今年以上に、いい形で市の様々な施策の実現に取り組んで行けるものと思っている。

問 12月議会初日に市長が発言されたが、どういう思いで発言されたのか。

回答 9月議会での緊急質問のやりとりの中で、私の意図とは違うが一部の表現が誤解を与えてしまったことから、不適切な発言としてお詫びしたもの。

問 12月議会最終日の議長の発言について、市長の立場からはどのように思われたか。

回答 議会の中のことであり、私が発言すべきことではないが、市民からのご指摘やご心配に対し、内容は違うが、私の議会初日のお詫びと同様に市民の皆様から心配されていることに対してのお詫びということで、思いは同じではないかと思っている。

終了 午後1時54分